

禁止行為・守っていただくこと

禁止行為

以下の行為をされ、医師・看護師及び他病院職員の指示に従っていただけない場合、入院治療を中止の上、退院していただくことがあります。

- 喫煙及び飲酒（病院敷地内すべて）
- 暴力、暴言行為、迷惑行為、ハラスメント、ストーカー行為
- 無断外出・無断離院
- 器物破損、危険物の持ち込み、放火、違法駐車など施設管理上問題となる行為



守っていただくこと

■ 災害時

地震・火災などによる緊急避難時には、病棟スタッフが誘導いたしますので、指示に従ってください。入院当日に、非常口を必ずご確認ください。



■ 感染予防

感染予防のため、入室時は、病室入り口に設置している手指消毒液をご使用ください。

■ 入院中の他院受診

入院中は、他の病院の受診（おくすり目的の受診、家族の代理受診含む）が、保険診療上認められておらず、原則として受診できません。まずは病棟スタッフにご相談ください。

■ 携帯電話の利用

携帯電話は、マナーを守ってご利用ください。

- ※ 院内では、マナーモードに切り替え、通話はデイルームでのみ行ってください。
- ※ プライバシー保護の観点から、撮影、録音行為は禁止しております。



■ 職員への謝礼のお断り

職員への謝礼等は、固くお断りしています。

安全のためのご協力をお願い

当院では患者さまにとって安心できる生活環境を整え、安全な医療を提供するため、各種防止対策に取り組んでおります。患者さま、ご家族にも以下についてのご理解とご協力をお願いいたします。

患者さまの誤認防止

患者さまの誤認防止のため、入院中はリストバンドを装着いただき、何度も患者さまのお名前を確認させていただきます。患者さまから、医療者へお名前をお伝えください。

転倒・転落防止

入院すると生活環境は今までとは異なります。生活環境の変化に、病気やケガによる体力や運動機能の低下、薬の影響が加わり、転倒や転落をすることがあります。それにより、外傷や骨折、まれに脳内出血を起こし生命に影響を及ぼすこともあります。当院では、安全で快適な入院生活を送っていただけるように、転倒・転落予防の対策をたてています。しかしながら、この予防策には限界があることをご理解ください。

- ・ 日頃お使いのメガネや補聴器など、生活に必要なものをご持参ください。
- ・ 履物は履きやすく滑りにくいゴム底の運動靴、寝衣はズボンタイプが有効です。
- ・ ベッドからの移動や歩行時に不安がある場合は、介助をしますので看護師・看護補助者にお知らせください。
- ・ 車椅子の操作の際は、乗り降りの前に必ずストッパーを掛けてください。

